

第9回 議会議会報告会での意見・提言等一覧表

(開催場所: 高梁、津川、川面、玉川、有漢、成羽、川上(上大竹)、備中(田原))

No	班	開催場所	項目	意見・提言等	議会報告会での回答	委員会での対応
1	4班	津川	町内会支援	各町内会の集会所について、年間維持費の補助を要望したい。	今年から町内会支援ということで改修には補助が出るようになってきているので、それをしっかり利用してもらうのが一番。維持費の補助は難しい。草刈りだけでなく町内会支援をしっかりとしていく中で何とかなのではないかと思っているが、引き続き要望を出していきたい。	市へ意見として伝えます。
2	4班	津川	成羽病院	成羽病院の利用率が低いという話をよく聞くがどうなのか。	市立の病院はどれも小さいほど利用率が減っている。岡山市立病院のような大きな病院でも利用率が低いことが課題になっている。看護師が足りない問題も含めて、考えていかなくてはならないと思っている。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
3	3班	有漢	消防署	合併の際に消防署の分駐所を有漢に建設することだったけどどうなったか。	未回答	市へ意見として伝えます。
4	3班	有漢	土木事業	有漢、川上など各々の地域でどれだけ土木事業がなされているかを説明すべきである。	各地域にどれだけ予算がついていたのかは、すぐには回答できないが対応したい。地域のためにしっかり予算を取ることがいいのか、人口が減っていく中でどうやって地域を維持していくのかを考えなければならない。	委員会としても、全体的に予算が減少している中、地域のために人口減少の中でもその地域を維持するために必要な予算を確保できるよう、精査しながら議論をしていく。
5	3班	有漢	公衆トイレ整備	公衆トイレは地元で管理すると言っていたのに撤去されたのはなぜか。	持ち帰ってお答えできることはお答えする。	市へ意見として伝えます。
6	3班	有漢	医療関係	有漢診療所での診療は、来年3月まで週1回になる。医療機関の有無はまちづくりに直結している。医師がいなくてに定住しろと言われてもできない。子育て世代は特に無理。後継の医師がいないのであれば、この地域で急患、出産について特別措置が考えられないか。かかりつけ医を持ってと言われているが、診療所の医師がいなくなればそれもできなくなる。何としてでも地域でかかりつけ医のような施設を残してほしい。	平川地区でも診療所から医師がいなくなったことがあった。地区での経営審議会を設けており、継続要望を出したが旭川荘は診療所を手放すということであった。その後、診療科目は減ったが、なんとか成羽病院の系列で運営していただけたことになった。医師の確保は今後も困難であると思う。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。

No	班	開催場所	項目	意見・提言等	議会報告会での回答	委員会での対応
7	3班	有漢	医療関係	家族全員診療所にお世話になっていた。診療所がなくなると往診を頼めない。今は薬だけをお願いに行っているがそれでも多くの方が利用している。	松原では市民センターに医師が来てくださる。投薬のみで、月10カウント程度である。来てもらうのがいいのか、患者が公共交通を利用するのがいいのか。有漢の人口規模からしたらどうしたらいいのか。地域包括ケアをされている医師もいるが、その医師がいなくなったらどうなるのか。医師の負担の軽減も考えなければならない。病気予防に取り組んでいる地域もある。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
8	3班	有漢	医療関係	有漢診療所に来る意思のある医師に対して、成羽病院での勤務を進めたと聞いているがどうか。	未回答	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
9	3班	有漢	医療関係	高齢者は診療所を頼りにしている。病院から退院して自宅に帰っても近所に診療所があれば安心である。何らかの形で医師にいていただくことが必要ではないか。	高齢者の一人暮らしが増えている。福祉委員、民生委員、行政、社会福祉協議会のお助けサービスなどいろいろとあるが、どれにしても距離感があると感じている。まちづくりということが、日常生活の面でどう対応するかということにシフトしてきている。ハードだけではどうにもならない。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
10	3班	有漢	議会報告会	今回の資料は手抜きである。以前は広報誌の内容を棒読みだった。地域別の報告をしてほしいとの要望を出したのはどうなっているのか。		委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
11	1班	玉川	監査	監査に第三者を入れるべきではないか。	未回答	市へ意見として伝えます。
12	1班	玉川	地域おこし協力隊	地域おこし協力隊を玉川地区にも配置してほしい。	玉川市民センターに返事をする。	市へ意見として伝えます。
13	1班	玉川	議会報告会	議会報告会を毎年開催してほしい。	現在は、年2回、16カ所で行っている。議会で検討する。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
14	3班	高梁	議会報告会	議会報告会当日いきなり説明されてもわからないので、報告内容について事前にお知らせしてもらいたい。	わかりやすい形で工夫しているが、今後考えさせていただきたい。前もって資料を出すことを検討する。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
15	3班	高梁	議会報告会	「まちづくりについて」というのではテーマが大きすぎる。次からは、もっと具体的なこと、例えば立地適正化計画について等もっと絞るべきではないか。		委員会で調査、議論する。
16	3班	高梁	議会だより	議会だよりを発行した後に議会報告会をしてはどうか。	検討する。	他市の事例も踏まえて、検討していく。

No	班	開催場所	項目	意見・提言等	議会報告会での回答	委員会での対応
17	3班	高梁	未払金関係	平成28年度決算審査の中で工事未払い問題の質問はなかったのか。未払い問題は重大であるにも関わらず、百条委員会は非公開にしている。今後どのような方向性になるのか。議会としての報告は何を目的にしているのか。防止策も提案するのか。なぜ非公開なのか。上司が工事について知らないことは考えられない。課長は職場会議を開かなければならないし、課内連絡会という課長と係長の会議もある。これらをやっていないのか。市役所上層部、OBの話では、緊急に災害復旧工事が必要なときには担当者の判断でやって、予算要求するとのことであった。担当者の責任のみで終わってはいけないし、処分をすればいいというものではない。財政サイドの職員の話も聞いてほしい。以前は年度内に済ませていたのにそれができない。組織的な問題がある。百条委員会でもこういう点にメスを入れてほしい。	決算審査の中での質問はなかった。提案はお聞きしておく。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
18	1班	成羽	学童保育	成羽では学童保育がなぜ学校でできないのか。	担当課から返事をさせる。(成羽地域局へ)	市へ意見として伝えます。
19	1班	成羽	成羽デイサービス	成羽デイサービスセンター2階のホールを憩いの場として使用できないか。	担当課から返事をさせる。(成羽地域局へ)	市へ意見として伝えます。
20	1班	成羽	議会	議会報告会もよいが定例議会前に懇談会ができないか。議会前に住民の要望を聞いてほしい。	地域の声を議会に生かしてほしいということだと考える。今後の参考としたい。またいつということではなく要望を予算に生かせるようにしたい。	現状のままで、各地域の議員さん、またお知り合いの議員さんへしっかり要望していただきたい。
21	1班	成羽	議会報告会	議会報告会の参加者が少ないと思うがどうか。	皆さんが参加しやすいようにこれからも努力する。	委員会としても重要課題と認識しており、今後も議論を重ねていく。
22	4班	川上(上大竹)	市職員関係	行財政改革を進められる中で、地域局へまちづくりにかかわる人を配置してほしい。地域は高齢化しており、何をすることもエンジンになる人がすでにいろいろな役でいっぱいになっている。最初に職員の方に引っ張ってもらい、ある程度うまく回り始めたら、その後は地域で回すような形にできないか。	将来のまちづくりを考えた場合、職員として、まちづくりをしてもらうというのは大きなテーマだと思う。持ち帰って検討する。執行部にも伝える。	市へ意見として伝えます。

No	班	開催場所	項目	意見・提言等	議会報告会での回答	委員会での対応
23	4班	川上 (上大竹)	畑地かんがい施設	畑地かんがい施設の特別会計があると思う。自主的な運営をしていて、今は月に100万円、年間で1,200万円ほどかかっている。何とかやりくりしているが、受給者が減って運営が難しくなっている。農業をやめた人にも負担してもらっているが、子どもの代になると、使っていないのに負担できないということで滞納につながっている。権利的には無料にはならないというスタンスでやってきているが、法廷闘争になると負けるかもしれない。会計的に厳しいことになると市にお願いしなければならなくなるので、議員さんたちにも認識しておいてほしい。	川上町にそういった特殊なものがあり、受益者負担で運営しているということは聞いている。決算監査のときにもどういう状態にするのがいいのかという話は出ているが、まだ検討中である。	委員会としても重要課題と認識しており、現地視察も含めて今後も議論を重ねていく。
24	4班	川上 (上大竹)	定住対策	市で進めている移住対策で地域に入ってくる人の情報を受け入れる側の地域にも伝えてほしい。最初に歯車がうまく噛み合わない、その後もうまくいかないということが実際に起きている。そうだと、お互いに気まずい思いをしなければならない。どういう経緯で入ってこられた方なのかわかれば、地域の対応もスムーズに進むと思う。	個人情報が含まれるので難しいところがあるかもしれない。都会から来られた方は、田舎の付き合い方に慣れないので、できれば少し長い目で見て地域に溶け込んでいただければと思う。提案として施行部に伝える。	市へ意見として伝えます。